

平成29年度 学校評価に係る学校関係者評価書

学校名 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校

1 本年度の重点目標

2 本年度の経営方針

- (1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣を定着させる。
- (2) 生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をととして、キャリア教育を推進し社会性を育成する。
- (4) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。

- (1) 創作活動をととして学ぶ意欲を高め、可能性を引き出し、伸ばし、確かな学力を育成する。
- (2) 他を思い理解し、共に学び感動があふれる学校生活をととして、豊かな人間性を育成する。
- (3) 全道唯一の工芸科として、美術工芸の学びをととした質の高い教育活動を推進する。
- (4) 生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える、地域に根差し開かれた学校づくりを推進する。

学校関係者評価委員会

学校評議員

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学校経営	(1) 創造力の育成と人間力を高める教育を実践し、夢を語り感動があふれる学校づくりを推進できたか。	B	C	教員の質、子どものとらえ方。生徒募集を兼ねての学校外への情報発信。ものづくりについての説明をもっと細かく。	B	B
	(2) 魅力ある教育活動の取組（美術工芸教育、高大連携教育、国際理解教育、地域連携教育等）によって、教育の質的向上が図られたか。	B	B			
評価者の意見等		経営的には定員充足が必要だと思います。				
学習指導	(1) 生徒一人ひとりの実態に即した学習指導によって、基礎的基本的な学力の定着や向上が図られたか。	B	B	自主・自律的な学習習慣の定着=授業の充実=授業の見直し・改善より時数・総合的な学習の内容、やり方について考える 図書担当教員がいない 図書教育を学校全体でどのように行っていくかある程度共通理解を図る必要がある。 生徒の意欲につながる授業やその他の場面での指導の在り方の改善を個々で。 図書室の活用方法の改善を共通で確認。	B	B
	(2) 多様な生徒に対応する教材開発や指導方法・評価方法の工夫改善によって、学ぶ意欲を喚起して能力を伸ばせたか。	B	B			
	(3) 学習活動、特別活動、総合的な学習の時間の学びによって、これからの時代に求められる力が育っているか。	B	B			
	(4) 情報教育や図書教育の充実を図り、豊かな人間性を育成できたか。	C	C			
評価者の意見等						
生徒指導	(1) 教職員の共通理解と実践によって、基本的な生活習慣の定着が図られたか。	C	B	(事後報告が多く)どのような動きを全体で取るべきなのか全体周知を細かく行う。 いじめの判断は委員会 工芸科としての授業につながる校外活動をふやす 三年生のようなことがおきかないような情報交換	C	B
	(2) 地域の特色を生かした特別活動等の充実を図り、生徒の自主性や自律性を育成できたか。	B	B			
	(3) 教育相談活動を充実して多面的に生徒を理解し、いじめ等を含めた問題の早期発見・対応を実践できたか。	C	C			
評価者の意見等						
進路指導	(1) 進路意識を高めながらキャリア発達の促進を目指し、自己実現に向けて努力する態度を育成できたか。	B	B	3年計画（長期的見通し）を進めるべき。生徒の進路に対する意識づけ。 進路指導部と担任が連携をとり、キャリア教育を推進する。	B	B
	(2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて進路目標を設定する力を育成できたか。	B	B			
	(3) 情報収集と情報発信を活発に行い個に応じた進路指導を充実して、進路実現を達成できたか。	C	C			
評価者の意見等		・進路指導には難しい点が多々あり苦勞されている。 ・概ねよい方向にあると思います。				
健康安全指導	(1) 保健教育を充実させ、個々の生徒の状況を的確に把握し、生命の大切さを知り、主体的に健康安全に努める姿勢を育成できたか。	B	B		B	B
	(2) 校内外の清掃美化や施設の保全、環境教育をととして、快適な教育環境づくりを推進できたか。	B	B			
	(3) 教育活動全体をととして、安全教育を徹底させ、適切な生活行動ができるよう指導できたか。	B	B			
評価者の意見等						

組織運営	(1) 日常的組織的な連携が緊密化し、協働体制を確立できたか。	C	C	学校の信頼と信用の回復にどう取り組むべきなのか不透明なまま。仕事の分業化がすぎている 「生徒を育てる」視点での校内研修を行う 円滑な情報共有が必須であるが、難しい状態である。意識を変えなければならぬ。 情報共有のあり方、すれ違いがあった。連携のみなおし。	B	C
	(2) 学校課題の明確化・共有化を行い、前例踏襲に陥らずに工夫改善を図りながら各取組が進んだか。	C	C			
	(3) 危機管理意識が醸成されたか。	C	C			
評価者の意見等	方策に具体性はありません					
研修	(1) 専門性と資質能力の向上のための研修活動を充実させ、授業改善や実践力が向上したか。	B	B	モデル校への視察。校内研修。中堅の先生に教わる機会を増やす。(研修会、授業参観等)	B	B
	(2) 服務規律保持・倫理観について、意識は向上したか。	B	B			
	(3) 個々の教員のスキルは向上したか。	C	C			
評価者の意見等						
保護者、地域、住民等との連携	(1) 保護者や地域に対して本校の取り組みを十分に情報発信することができたか。	B	B		B	B
	(2) 保護者や地域からの意見を聞き、積極的に学校改善に役立てることができたか。	B	B			
	(3) 保護者との連携を図りながら、充実したPTA活動が展開されたか。	B	B			
評価者の意見等	アンケート結果とは異なる印象を受けました					

4 自己評価における特記事項（総合的な改善方針）

・校内研修について、年度当初から年間計画に取り込む等してより計画的に進めるべきであった。又、研修内容や取り組み方についても次年度に改善が求められる。
→・次期学習指導要領に向けた指導と評価の一体化、授業の見直しと改善が求められる。又、次期大学入試に対応する取り組みの模索・視察・検討。
学校外への情報をもっと早い段階から行うようにするとよくなったと感じた。木の手づくり展や一日体験入学時に、外部の方からもっと早く知りたかったという声や、素晴らしい作品や取り組みをしているのだからもっとTVや新聞に出てほしいという声がたくさんあった。総務部まかせにならないように工芸科と連携するべきだった。

5 学校関係者評価における特記事項

情報共有の認識が高まった反面、方策には具体性が欠ける印象を受けました。学校評議員会に対していじめに関する情報提示が必要ではないか。
アンケートの集計結果をいかせるようにすると良いと思います。
外部からみると、自己評価が低いような気がします。
保護者の方の評価もたいへん厳しい感じですが。期待の高さの裏面かもしれませんが。
お忙しいとは思いますが、まずは発信力を高めるしかないように思います。

〈 学校評価に係る学校関係者評価書の記入について 〉

- 「3 自己評価結果に対する学校関係者評価」については、以下のように評価してください。
 - (1) A：充分である B：概ね充分である C：不十分である D：改善を要する
 - (2) 「自己評価の適切さ」の欄には、「達成状況」「取組の適切さ」の評価について、評価を記入してください。
 - (3) 「改善に向けた取組の適切さ」の欄には、「改善の方策」に対する評価を記入してください。
 - (4) 各分野・領域についてご意見のあります場合は、「評価者の意見等」の欄に記入してください。
- 「5 学校関係者評価における特記事項」は、評価結果や改善の方策についてのご意見を記入してください。

